

## 上田正昭『日本人“魂”の起源』

(文中の太字は引用者によります)

▲神話は本来、口から耳へ、耳から口へと語り伝えられた、口頭による伝承として存在しました。記録のさいに、筆録の目的、あるいは筆録者の条件によって、整理されることが多いのです。**削除・省略があったり、逆に付加があったりもします。そこには潤色や作為が作用するわけです。**本源的に言えば、神話は語るものであり、聞くものであって、「読む」ものではなかったのです。

▲書かれた神話のもとよりのこと、**書かれざる、隠された神話もその視野におさめて考察することが、わたしの神話研究の基本的な立場であります。**

<この文書は、「**生駒の神話**」(下記URLをクリック)に掲載されているものです。>

<http://ikomashinwa.cocolog-nifty.com/ikomanoshinwa/>